

第6学年 総合的な学習の時間「ものづくりのまち大田～道塚カンパニー～」（26時間）

指導者 大胡 拓也 渡邊 彩 相磯 容子 浅川 大毅 場所：体育館

1 単元の目標

展覧会に向けての製品開発活動を通して、ものづくりのまち大田の製品や製品開発の手法を理解し、相手や目的に応じた適切な製品や販売するための工夫について考えるとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れながら行動したり生活したりできるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①ものづくりのまち大田の製品や製品開発の手法を理解している。 ②インタビューやウェブサイトによる調査で、解決に必要な情報を適切に収集している。 ③ものづくりのまち大田や製品開発の手法への理解の高まりは、企業や他者と協働して関わりながら探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①留学生との関わりや製品開発への思いから問いを見だし、解決の見通しをもって計画を立てている。 ②収集した多様な情報を分類・整理し、製品開発や販売に向け、相手、内容、方法について考えている。 ③表現方法の特徴や目的に合わせて、適切な方法で製品を開発している。	①異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しながら、活動に取り組んでいる。 ②相手や目的に応じた適切な製品開発、販売に向けて、自分や友達の考えを活かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。

3 東京大会主題「新たな価値の創造 ～深い学びの実現を目指して～」に関する視点

(1) 単元設定の趣旨

大田区はものづくりのまちであり、3年生の社会科での工場見学から継続的に関わりをもってきている。5年生までは、工場の特徴や働く人の思い等を伝えるという学習を繰り返してきたが、6年生では、これまでの経験を活かし、製品を開発し販売活動を行う経験を積ませたいと考え、本単元を設定した。

(2) 小学校生活での総合的な学習の時間のまとめを考えたテーマ設定

6年生の学習テーマは、「自分を見つめる」である。3年生から5年生までは、まちとの関わりをもとにテーマや探究課題を設定してきた。6年生では、小学校でのまとめとして未来の自分を想像し、見つめさせることで、これまでの体験や知識を活用し、学びを深めることができると考える。本単元では、製品開発、販売活動といった実社会に近い内容で学習を行うことで、児童の交流も活発になり主体性・協働性がさらに育つとも考える。

(3) 他教科等における見方・考え方との関連

今までに学んだ社会的事象などに対する見方・考え方を実際に会社のように製品づくりに活かすことを通して、道徳科の様々な事象と自己とを関連付ける。また、多面的・多角的に捉える視点で、協働体験から自己の生き方や将来のキャリアについて考えられるようにする。

4 単元の指導計画（本時 6-1 6-2 6-3：18時）

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点 () 関連教科
1	【留学生との交流の話をきっかけに課題を設定しよう。】 (課題の設定) ○国際交流の会について知り、問いを見いだす。 ・留学生に、日本の伝統文化を伝えたい。 ・思い出や記念として、日本のお土産を留学生にあげたい。 国際交流の会で、おもてなしをしよう。	・3年ぶりに国際交流の会を行うことを知り、どのように留学生をもてなすのか考えることから、課題を設定するようにする。(外国語科) ◇思①
2 3	【留学生をもてなす方法を調べよう。】(情報の収集) ○日本の伝統文化や大田区のお土産について調べる。 ・和食・折り紙・囲碁・将棋 など ・「大田区お土産 100選」 藍染め など	・留学生へのおもてなしの方法を想像することを通して、伝統文化や大田区のお土産というキーワードが引き出すようにする。◇知①
4 5	【おもてなしの準備をしよう。】(整理・分析) ○グループ別におもてなしの方法について話し合う。 ・けん玉や書写を体験してもらうのはどうかな。 ・お土産をあげるのもいいのではないかな。 ○お土産を選定し、藍染めの製品を作る。 ・ハンカチはみんな使うからいいよね。 ・大田区には、藍染め工場があるらしいよ。 ・思い出により残るように、手作りにしたい。 ・藍染めハンカチをお土産にするなら、まず作ってみたい。	・伝えたい内容ごとにグループを分けることで参画意識を高め、それぞれのよさが発揮できるようにする。 ・文化を伝えること、お土産作りをすることを並行してすすめていくようにする。 ・お土産作りの藍染めの体験については、外部講師（高橋染物店・藍熊染料店）と連携する。(家庭科) ◇知②
	【国際交流の会の振り返りから課題を設定しよう。】 (まとめ・表現) (課題の設定)	・各クラスに留学生を招き、グループご

6	<p>○国際交流の会で、おもてなしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験コーナーのある交流会をすることで、深く伝えられたり親密になったりすることができた。 ・藍染めのお土産ハンカチのもっと多く広めたい。喜んでもらいたい。 <p>○新たな問いを見いだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験した活動を進化させたい。 ・藍染めのハンカチを他の人にもプレゼントしよう。 ・1月の展覧会で紹介・販売ができそうだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 藍染めのハンカチを製品開発して、商品化しよう。 </div>	<p>とに発表するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしを通して感じたことを振り返る時間を確保することにより、次の課題の設定へのきっかけを導き出せるようにする。 <p>◇主①</p>												
7 8 9 10	<p>【製品開発の方法を知ろう。】(情報の収集)</p> <p>○永谷園の方から、マーケティングについて学ぶ。</p> <p>○実際に販売するために、考えておくことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット・販売する場所・値段を決めないと。 <p>○参考に「大田区お土産 100 選」も調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藍染めのハンカチが欲しいと思えるためには、どんなデザインがよいのか考えよう。 ・藍染めのハンカチの活用方法を考えて、伝えたらどうだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藍染めの模様作りは、マーブル模様ボーダー模様、ボールを入れて包む方法、板締め絞りなど、様々な方法があることに気付けるようにする。 ・永谷園の方から、マーケティングについて学ぶ。 <p>◇知① 知②</p>												
11 12	<p>【製品開発を進めよう。】(整理・分析)</p> <p>○展覧会で販売できる見通しをもち、製品開発計画を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作部・・藍染めのハンカチを製作する。 ・デザイン部・・製品パッケージ・売り場のデザインを考える。 ・広告宣伝部・・藍染めのよさが伝わるような広告・宣伝を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(製作部、デザイン部、広告宣伝部)ごとに製品開発を進めることを確認し、自分の適性に合った部を選ぶように伝える。 <p>◇思②</p>												
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	<p>【製品開発をして販売しよう。】(まとめ・表現)</p> <p>○3部に分かれ、報告会に向けて試作品をつくる。</p> <table border="1" data-bbox="225 992 911 1205" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">製作部</th> <th style="width: 33%;">デザイン部</th> <th style="width: 33%;">広告宣伝部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藍染め製品の作り方を調べる。様々な染め方の技を磨く。買う人の好みを調べ、製作する。</td> <td>パッケージ等の見た目やネーミングなどを複数考え、検討したり改善したりする。試作する。</td> <td>仕事内容・工夫・コンセプトを調べ、複数の案を考え、検討する。仕事を進める。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各部の社内報告会を行い、製品を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これなら売れそうだ。 ・まず製品CMを校内に流そう。 ・チラシやポスターなど、販売に向けての計画を立てよう。 ・意見を取り入れて改善しよう。 ・価格を決定しよう。 <p>○展覧会での準備をし、販売活動をする。</p> <table border="1" data-bbox="225 1440 911 1585" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">製作部</th> <th style="width: 33%;">デザイン部</th> <th style="width: 33%;">広告宣伝部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製品を並べ、それぞれの製品のチェックをする。</td> <td>売り場を仕上げる。</td> <td>CMやチラシ案内を試し、制作し、宣伝計画を立てる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学習活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えた物が本当に売れて嬉しかったね。 ・もっといろいろな職業体験をしてみたい。 ・将来、物を作って売る人になりたい。 ・自分の将来を考えるために役に立つと思った。 	製作部	デザイン部	広告宣伝部	藍染め製品の作り方を調べる。様々な染め方の技を磨く。買う人の好みを調べ、製作する。	パッケージ等の見た目やネーミングなどを複数考え、検討したり改善したりする。試作する。	仕事内容・工夫・コンセプトを調べ、複数の案を考え、検討する。仕事を進める。	製作部	デザイン部	広告宣伝部	製品を並べ、それぞれの製品のチェックをする。	売り場を仕上げる。	CMやチラシ案内を試し、制作し、宣伝計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部で、さらに情報収集したり整理したりすることを通して、目的に向けて考えたり話し合ったりする体験を十分にさせることで、ものづくりをする人の楽しさや思いを感じることができるようになる。 (特別の教科道徳)(家庭科) ・各部で、情報の収集、整理・分析を適宜行いながら、まとめ・表現を行う。 ・各部ごとに製品開発イメージを話し合っ て見通しをもってから実際の製作活動を行うことができるようにする。 ・意見を参考にし、仕上げの製作を行う。 ・価格設定や販売当番等、実際に販売する時のことを想定した話し合いもするようになる。 <p>◇主①② 思②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を分担し、実際に販売活動を行うことができるようにする。 <p>・自分の成長、思ったこと、気付いたこと、これからどうしたいかについて十分に書けるよう、場と時間を用意する。</p> <p>(特別の教科道徳) ◇知③</p>
製作部	デザイン部	広告宣伝部												
藍染め製品の作り方を調べる。様々な染め方の技を磨く。買う人の好みを調べ、製作する。	パッケージ等の見た目やネーミングなどを複数考え、検討したり改善したりする。試作する。	仕事内容・工夫・コンセプトを調べ、複数の案を考え、検討する。仕事を進める。												
製作部	デザイン部	広告宣伝部												
製品を並べ、それぞれの製品のチェックをする。	売り場を仕上げる。	CMやチラシ案内を試し、制作し、宣伝計画を立てる。												

5 本時 (18/26) 【製作部】 体育館

(1) 目標

前時までに染めた藍染めのハンカチを見合い、話し合うことで、よりよい作品作りに活かすことができるようにする。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入 5分	○本時の流れ、めあてを確認する。 染めたものを製品化するために、意見を出し合おう。	・グループで本時の目標、作業について確認する。 ・時間や流れなどを提示する。
展開 30分	○グループごとに染めたものを見合い、意見を出し合う。 ・日本の伝統的な技術を活かした製品だな。 ・つける時間を工夫したら、色の変化が出そう。 ○付箋紙によかったこと、今後取り組みたいことを書いて、ハンカチの下に貼る。 ○ほかのグループの作品や付箋紙を見て、互いに評価し合う。 ・ここの技術をもう少し活かさないかな。 ・もっとこういう手ぬぐい・作品・Tシャツ・バッグがあるといいな。 ・しぼり染め(ペットボトルキャップ、ビー玉など) ・しぼり染め・輪ゴム染め・型染め・板染め	・気付いたことを共有するための掲示板と付箋紙を用意する。 ・自分たちが作ったハンカチは売れる品質かを振り返る。 ◇主①(ものづくりを支える人々の思いや将来の地域のものづくりについて考えることを通して、地域のものづくりへの関心を高めている。)(発言・付箋紙)
まとめ 10分	○デザイン部や広告・宣伝部の人に発表する。 ○学習を振り返る。 ・ほかの部も頑張っているんだね。 ・買ってもらえそうなハンカチになった。 ・次の時間も頑張ろう。	・次時への見通しをもたせる。

5 本時 (18/26) 【デザイン部】

(1) 目標

パッケージデザインや売り場デザインについて発表し、藍染めのよさが伝わるようなデザインを考えることができるようにする。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入 5分	○本時の流れ、めあてを確認する。 パッケージの中に入れるチラシや展覧会の売り場のデザインを考えよう。	・グループで本時の目標を確認する。 ・時間や流れなどを提示する。
展開 30分	○各グループで作成をする。 【パッケージデザイン】 ・藍染めの歴史について説明を入れてみよう。 ・完成品の写真を入れたらどうだろう。 ・QRコードを読み取って、染め方や藍染めの材料などについて、スマートフォンやタブレットPCで見られたらいいね。 ・藍染めをアピールするために、藍色にしよう。 【売り場デザイン】 ・ポップを作ったらいいね。・目立つ看板にしよう。 ・藍の種や植物などを置いてみたらどうかな。 ・ハンカチの使い方について紹介しよう。 ・商品が見やすいように配置を考えよう。 ○グループごとに交流をする。 ○ほかのグループのアイデアが自分のグループにも活かさないかを話し合う。 ・パッケージに藍染めの歴史を入れるなら、売り場にもパネルを用意しよう。 ・パッケージも売り場も藍色を使うのがいいね。	・売り場グループ、パッケージグループに分かれて話し合いを進める。 ・話し合いをしたことをタブレットPCや図面などにまとめる。 ・パッケージデザインなどをその場で印刷できるように、プリンターを用意する。 ・気付いたことを共有するための掲示板、模造紙、付箋紙などを用意する。 ・自分たちが考えたパッケージや売り場デザインがお客様の購買意欲を高めることができるかを振り返る。 ◇思③(収集した多様な情報を整理し、地域のものづくりのよさを伝える相手、内容、方法について考えている。)(発言・付箋紙)

ま と め 1 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ○製作部や広告宣伝部の人に発表する。 ○学習を振り返る。 ・製作部の思いを、売場に活かそう。 ・広告宣伝部のアイデアが自分たちにも活かそう だ。 ・次回、もう少し改善できそうなどころはないか考 えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時はさらによいデザインにできないか考 えるという見通しをもたせる。
----------------------------	---	---

5 本時 (18/26) 【広告宣伝部】

(1) 目標

広告・宣伝について発表し、藍染めのよさが伝わるような広告・宣伝を考えることができるようにする。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導 入 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の流れ、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">藍染めの素晴らしさを伝える宣伝を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで本時の目標を確認する。 ・時間や流れなど提示する。
展 開 3 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループで話し合いをする。 ・ポスター ・キャッチコピー ・CM製作 ・店頭で流す映像 ○グループごとに話し合ったことや、ポスター・動画 などについて発表する。 ・もっと工夫をしたら、もっとよい宣伝になるな。 ・ハンカチ以外の使い方を紹介したらどうかな。 ○グループ発表後、それぞれのグループのよかったと ころなど、気付いたことを付箋に書いて、掲示板、 模造紙に貼る。 ○話し合いをもとに、よりよい宣伝にすることができ ないかを話し合う。 ・自分たちが考えた宣伝、広告を見て購入したい気持 ちになってもらえるだろうか。 ・もっとデザインを工夫しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、動画広告、チラシグループに分 かれ、作業を進める。 ・お客さんの購買意欲を高めるために、藍染 めのよさや魅力が伝わる広告や宣伝にす る。 ・気付いたことを共有するための掲示板、模 造紙、付箋紙を用意する。 ・自分たちが考えた広告や宣伝がお客さんの 購買意欲を高めたり、藍染めのよさを伝え たりすることができるかを振り返る。 ◇主②（ものづくりを支える人々の思いや将 来の地域のものづくりについて考えること を通して、地域のものづくりへの関心を高 めている。）（発言・付箋紙）
ま と め 1 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ○デザイン部や広告宣伝部の人に発表する。 ○学習を振り返る。 ・藍染めのよさを伝えるために、十分な内容であつた かを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への見通しをもたせる。